

令和7年度 第3回学校運営協議会 議事録

1 開催日時 : 令和8年2月20日(金) 15:30~17:00

2 開催場所 : 池田高等学校 校長室

3 運営協議会メンバー

①運営協議会委員(委嘱委員)

会長 中西 周次 (学識経験者) 大阪大学教授
田渕 正樹 (学校の運営に資する活動を行う者) 同窓会会長
鍋島 浩 (学校の運営に資する活動を行う者) 後援会会長
(欠席) 畠中 伸一 (地域住民) 池田市立石橋中学校校長
太田 高正 (地域住民) 呉羽会自治会長
天野 亮 (保護者) PTA会長

②事務局員(校内出席者)

尾上 大 校長
亀山 司 (事務局長) 教頭
木村 裕 (事務局員) 事務長
川田 明寛 (事務局員) 首席
小西 義治 (事務局員) 首席
松田 祐一 (記録) 教諭

4 内容

- (1) 令和7年度学校経営計画の評価案(達成状況)について
- (2) 令和8年度学校経営計画の計画案について
- (3) 保護者からの意見調査の現状報告について - 問合せなし
- (4) その他

5 協議事項

- (1) 令和7年度学校経営計画の評価案(達成状況)について

校長より、配付資料に基づき実施要項の説明

本年度の取組内容及び自己評価に関して

- 1) 「生徒一人ひとりの資質・能力を伸ばす」について

Google for Education等の教員研修や他校の公開授業の見学を行い、更なる向上を図っていることを説明。ICT機器の併用で、生徒が自身の考えをまとめ、発表する機会
の向上と、「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指すことを説明。

- 2) 「個別最適な学び」について

スタディサプリによる自学自習の推進を図っていることを説明。校内事情を踏まえ、今年度は校内予備校の実施を1・2年生のみと限定し、3年生については、教員からの特別講習を開設することできめ細かな指導を心がけた。池高ラボやそれ以外の教室にヒーターを設置するなどの工夫を通して自習学習時間の後押しを行っており、平均が2時間以上である生徒の割合が半数を占めることができたことの説明も行った。

・意見交換

委員 学校教育自己診断アンケートについてどの時期に行っているのか。

学校 12月に実施。

3) 国際理解教育の推進について

校長 より、配付資料に基づき実施要項の説明

生徒は国際文化について興味関心が高い傾向のため、外国語学習・国際理解を目的に、良好な交流を行うことができるよう新規姉妹校との連携について準備を進めていることを説明。

4) 中学校や地域社会に対する情報発信について

校長 より、配付資料に基づき実施要項の説明

Webページの更新や学校説明会の頻度を増やすことで、中学校や地域社会、保護者への情報発信を行っていることを説明。説明会への参加率は良く、講演を通して様々な事を伝える機会としていることを説明。

・意見交換

委員 HPの用途はどのようなものを考えているか。

学校 以前は連絡用ツールとして利用していたが今は別の連絡系統があるため、修学旅行や学校行事などの様子を保護者に知らせる手段として活用している。

委員 InstagramなどSNSの運用を考えるのも面白いのではないか。

5) 教職員の業務の精選・働き方改革について

校長 より、別添資料に基づき概要説明

教職員の業務に関して一層の精選を行うとともに、業務の割り当てのバランスを考慮することで超過勤務時間を減らしていることを説明。

委員 課外活動として設けている部活動とのバランスはどう工夫しているのか。

学校 大阪府から指示されている範囲内で休日の扱いなどを扱っており、副顧問との連携を行うことでバランスを保つよう工夫している。

委員 教員の部活動担当事情などを保護者に説明する機会はあるのか。教員から保護者に対して自らのスタンスの説明はとても難しいものがある。保護者による教員の理解度が高まることを期待したい。

学校 いただいた意見を踏まえ、今後の取り組みを検討したい。

(2) 令和8年度学校経営計画案について

校長 より、配付資料に基づき実施要項の説明

(3) 保護者からの意見調査の現状報告について

現時点ではなし。

(4) その他